

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大阪府立市岡高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒552-0002
大阪府大阪市港区市岡元町2-12-12

E-mail : _____

Website : http://www.osaka-c.ed.jp/ichioka/

児童生徒数：男子 383 名 女子 571 名 合計 954 名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

- (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。
 ※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

- ユネスコスクール世界大会 8カ国 高校生フォーラムに参画
本校ユネスコサークル生徒：5名
- 同大会に参加のインドネシア高校生との交流会
本校1年生：320名
- 防災：人と防災未来センター見学 本校1年生：320名
シアターでの震災追体験、施設見学、
ドキュメンタリー映像視聴、語り部による体験講話 など
- 防災：毎日新聞記者による講演
「津波と防災 ～防災＝知の力～」 本校3年生：320名
- 防災：過去の津波被害や現在の防災と水門の役割について
写真と地図を活用した壁新聞を作成（毎日新聞で紹介）
- 防災：「安政南海地震津波の碑」の教訓に学ぶ
地歴部員が、「大地震両川口津浪記石碑」への「墨入れ」を体験
- ユネスコサークル地歴部が「人権文化発表交流会」で発表
「水害から人命を守る ～大阪の治水について～」
- 防災に関し、生徒・保護者・地域が共に学びあう講演会を実施
第1回：「福島の子どもたちに寄り添って」福島大学准教授
第2回：「人に優しい技術 ー生活支援機器の改善ー」関西大学准教授
第3回：「危機管理とリーダーシップ」関西大学教授
- 東日本大震災復興支援 募金活動
4月、8月：生徒会部活動有志 九条商店街
- アメリカワシントン州 ケント市の高校との交流
短期留学による相互交流（7月9名本校訪問、3月17名ケント校訪問）
- 国際：日本や大阪に暮らす外国の人たちについて学ぶ
「市岡日本語教室」の7名の学習者の声を聞くなど

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ _____ ）